

(様式第1号)

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で生活し続けられる理念を掲げている。		職員への介護にのどむ姿勢が、理念に合っているか？問いかけている。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスの都度、理念に付いて話し合っている。	○	全員が理念を常に言えるようにしたい。
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	取り組みに付いては施設長やスタッフは家族・地域へ介護の姿勢について話す機会を持つようになっている。		運営推進会議・町内会等で利用者の暮らしぶりを話し理解を得る様になっている。
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設前、公道のゴミひろい 季節季節、プランターの花の植え替え 水遣り		職員・近隣住人への挨拶
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の活動には利用者と共に積極的に参加している。掃除・総会等は管理者やスタッフが出来る限り参加しております。	○	運営推進会議への参加 町内会長 民生委員等が進んで、出席されています。今後も施設に対するご意見は可能な事柄に付いては積極的に取り入れていきたい。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	古民家でスペースがなく。人員もなくて地域高齢者の暮らしに役立つ、取り組みが出来ていないと思います。	○	小規模の為、介護に追われている。職員の余力がない。隣接敷地に託老所を建築中であり、企画や構想を持っており地域に貢献できると考えております。
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	意義を理解し、評価を生かそうとする、介護姿勢が見られる。		意義を理解し、日々の介護に役立っていると思われる。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での話し合ったことは実施し、評価している。日常生活で徐徐ではあるがサービス向上に繋がっていると考えている。		地域ボランティアの導入を勧められた。行事・食事・入浴時等助かるが、専従指導員がいなく、当面の混乱を考えれば解決すべき課題も多いと考えられる。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と具体的な内容で話す機会が少ない。		制度の変更や広報等を実際の介護に取り入れる事に追われている。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加 県からの冊子を元に学習しております。		権利擁護に当たる事例はないと考えている。制度の事は管理者・ケアマネが研修等を終了しており、必要性に応じて活用できると考えております。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	問題行動等で虐待事例は今はない。有ってはならないと考えるが、夜間は独り勤務でありチェック機能がなく、有り得る事で、注意を払っている。		長時間おむつ交換したかった事例があった。おむつチェック表の確認・使用量等多面的なチェック方法を実施している。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
		I-4. 理念を実践するための体制			
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明し納得されたうえで契約されていると考えている。		入所時、契約は重要事項の説明を十分に納得してもらい。現地見学、1日お試して、おとまりいただいたうえで、納得と同意を得、ご契約いただいている。
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・問題・疑問等が発生した場合。その都度、カンファレンスで検討している。		施設長 苦情箱 ケアマネ苦情を分析し、速やかに対応したいと考えております。玄関に納得委員会のポスターをはり、いつでも入居者が相談できるようにしている。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	現在のところ、写真を月1回お送りしている。何かあれば、その都度電話連絡の上解決している。	○	介の羽 お便りを再開したい。早々に担当者を決め発行したい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・不満・苦情等は内容と実情との情報を収集分析し・介護に反映させている。ご意見箱を設置し、広く入居者の意見を羽意で切るよう勤めている。		運営推進会議等での家族の意見・不満・苦情等を重視し、情報の共有や問題を解決する方法等、スタッフが丸となって対策に取り組んでいる。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員・事例カンファレンスを毎月開催している。		カンファレンスの課題は次月で評価している。今後とも、課題の解決に向けて、充実したカンファレンスを続けたい。
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事・入浴等には職員数を増やしている。		入浴、食事時間は余裕をもって介護に当たれるよう人員調整している。
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの入れ替わりは少ない。新採職員には介の羽の理念をよく理解して頂き入居者の生活暦をよく把握していただいた上で、職務に地味にいただいている。。		入居者に接するときは、共生の精神で、常に黒子になったつもりで、その人らしい自立した生活が送れるよう、尊厳をもってコミュニケーションをとるよう指導している。
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新採職員の研修参加の機会と環境を整え、実際に外部の研修を積極的に受けるよう働きかけております。	○	内部研修を徹底したい。
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者がネットワークに参加している。医師交流会、介護サービス事業者協議会、日本ダイバーショナル協会等において常に、認知症の対応について勉強している。	○	シフト調整が困難で一度に複数の職員が交流会に出席する事は難しい。先進的な考えの、日本ロングライフでの研修をこの秋から計画している。
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	古民家改良型で手狭で施設面での工夫や環境作に苦慮している。		各自に自社の携帯電話をもってもらい連絡連携をより密にしている。
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	細部に渡り気配りし、個々の事例に付いても、其の都度カンファレンス・アドバイス等を行っております。		運営者がシフトを作成している、実際の勤務状態や状況を把握する様にしていきたい。
人材の育成と支援 4項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居時において、本人の生活暦を深く広くお尋ねし、より親密なコミュニケーションが取れるよう勤めている。		入所当初・直近の課題対応等、引き続きおこなっております。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の不安を解消する為、常に連絡を取り、面会時には、よくご意見伺うようにしている。		ご家族の心配にされていることや、入所当初・直近の課題対応等について、引き続きともに解決に努力しております。
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	あらゆる社会資源を可能な限り利用するようにしている。		入所当初・直近の課題対応等、引き続きおこなっております。
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族からお聞きした生活暦を元に一人ひとりに即した対応に、尊厳を持って係わらせて頂いている。		入所当初・直近の課題対応等、引き続きおこなっております。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
<b>Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	リビングで過ごす時間を多くしている。		ダイニング+リビングで共に過ごす時間が多く、調理・娯楽・テレビ観賞等スタッフと共に過ごし、調理、配膳などをともに行うようにしている。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と情報の共有、暮らしの喜怒哀楽を話し合える関係を築けるようにしております。		来訪時には、面会時間を大切に日ごろの様子を話し合い、より一層その人らしい生活を送っていただける様努力しています。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族間のトラブルで入所されている人があり今後も関係改善が出来る支援しております。		御家族がいつでも頻回に来訪できるよう、面会時間を制限していない。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	ご親戚や家族の面会が多く、お友達が訪 れることはほとんど見られない。曜日、時 間制限なく受け入れている。		知人等の面会は稀な状態。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士のコミュニケーションの充実。 助言や仲介の役割に付いて、話し合いを しております。		リビングで共に過ごす時間を多くなる よう配慮したい。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用 者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院中の面会。メンタル面のホローを 行っております。		入院による退所事例があった。
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	行動・行為の否定をしない事が最も大切で、介護者は相手を受け入れることが大切と考えております。		行動に付いては見守りを中心に援助していきたい。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に頂いた生活歴を元にその人らしい生活をつずけて頂くよう勤めつい増す。		生活歴や暮らし方を重視し、新たな情報があれば、再アセスメントをしていきたい。
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	表情・行動等の経過を見守り、必要適宜援助や支援を行える介護の習得に向けて、スタッフが研鑽できる環境作りに努力しています。		言動・非言動的側面で精神面や身体健康面等、総合的な把握について、日々の介護記録、引継ぎ等、職員間で現状を把握している。
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	長期入居者の為、課題・ケアの計画変更は本人の戸惑いや困惑を招くので、各関係者の意見を取り入れ、スタッフが現実のできる事柄を話し合ったうえ変更し計画しています。		病状の変化・介護量・食欲・季節の変化等を勘案し、ホームドクターのアドバイスの下、介護計画の手直しをして行きたい。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日常動作機能の変化・病状の増悪・発病等緊急に対処が必要な事柄も多い。		速やかに医師との連携を取る必要がある事が多く、家族には計画変更の必要性を事前・後に連絡し、了承を得る事がよくある。今後も計画の変更が必要な事例には対応していく。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、介護記録の記入を実施しており、施設長・スタッフ・ケアマネが必要事項を介護に活かせるようにしています。		個別記録がマンネリ化しています。特記があれば、課題として取り上げていく。
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々の利用者に合った対応をしております。		建築中の託老所と連携して、多機能性を活かした柔軟な支援をしていきたい。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	緊急時連絡・対応・対策・地域資源の活用(協力)等の想定訓練や勉強会をしております。		各種行事には地域のお誘いもあり、積極的に参加しております。
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	医療に関し、居宅訪問看護・リハビリのサービスを医師・ケアマネ・施設長・家族の連携で利用した事がある。		社会福祉協議会スタッフからのアドバイスを受け検討課題としている事柄(地域無料ボランティア)がある。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	キパーソンや本人の意思決定で権利擁護が必要と判断できる事例はありません。		本人にとって不利益になる様なことがないように権利の在り方に付いて研鑽(権利擁護研修への参加)していきたい。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅診療指導を受けている。スタッフも安心して介護に当たらせていただいている。		病状によりアドバイス・薬を処方してもらっており、生活の質の向上している。医師との信頼関係が構築できている。
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医師の判断と、専門医への診療情報提供書や家族の意向があれば受診する事としている。		認知に関しても、問題や課題はかかりつけ医に報告し、アドバイスを頂けるようにしております。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当施設職員は看護職は2名(ケアマネを含む)配置しております。		日頃の生活や医療に関しては、かかりつけ医と連携することにより、支援できていると考えております。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病状軽快・完治・鎮静等の病状を勘案し、施設で出来る処置・訪問医療への連携方法を話し合っております。		ベッドは確保し。一刻も早い病状の回復待っている旨、本人・家族にお伝えしております。
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設以来8年になり、入居者の年齢も高度化し、要介護度も上がり、5度の方が4割にもなっている現状の中、ターミナルケアの力量が問われる。		褥瘡の増悪 嚥下力低下 炎症 病状の急変には、ご家族、医師との連携を蜜にしている。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	心不全・骨折・褥創等の疾病に対し、医師との連携、家族・スタッフ・管理者・ケアマネ等との情報の共有を蜜に実践している。		当ホームで3名の方を看取らせていただいたがいずれもガン(皮膚ガン、肺ガン、巣増ガン)で、如何ともし難い残念なことでした。
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	該当する事例がない。		家族と本人の意向を尊重し⑩事例時に於いて話し合いや情報交換を行ってまいります。
地域資源との協働 10項目中 8項目					



自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	5～4名の個別性に付いては十分に配慮しております。面会簿も書式を変更しました。		生活・職業歴を把握した口調で接する事の重要性を話し会って(カンファレンス)いますいます。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望を聞く機会があるが現状満足していると返答がある。		毎日の生活の中で問い掛けながら、本人の満足度の理解に勤めていく。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	認知症の対応には、個別の対応が一番で、其の方の心の変化には、即座に対応している。		其の方個々の暮らしに合わせ、対応している。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出張美容院を利用している。	○	同じ衣類で過ごす事が多い。
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	是認がリビングで食事している。食事の準備・後片付けをスタッフとともにしております。		配膳など、得意とする役割が決まってきた。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ 2回/日		季節・気候・趣向に合ったものを提供している。
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の能力を勘案し、トイレ誘導を目標に援助を実施しております。		尿漏れ時、速やかな対応をおこなっております。
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回実施しているが、入居者様のご希望に対応している。		高齢になられて、中には、入浴を面倒がられる方もあり、促しながらお入りいただいている現状です。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	食後など個室にての、お昼寝の時間を設けています。		古民家を利用している。利用者に自宅との違和感は少ないと考えている。
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1.(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活職業歴は熟知するようにカンファレンスをおこなっている。		新たな情報が得られるような働き掛けをしている。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理はご家族がされており、施設での管理は必要としていない。たまに買い物に出るときは、小額を(¥1000程度)財布に入れて持っていた。		ご家族により金銭管理をしています。
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や季節毎の外出、花見、植物園、食事会等		管理者、ケアマネ、職員全員での外出を実践しています。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族へは推奨しています。	○	実施事例はすくない。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるよう支援している	制限はしていない。電話の取次ぎができる環境はある。		面会時間を大切にする為、環境を整えている。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問を歓迎している。		来訪時には、挨拶・スリッパを勧める・お茶をられる等を実施し近況をお伝えしております。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1.(4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の該当事例はありません。		研修への参加・施設内研修をおこなっております。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	独り勤務帯以外はセンサーの設置で、施錠しないようにしています。		防犯上必要と考えられる事もあります。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全に配慮しておく。		夜間は単独勤務であり、緊急連絡体制を整え、必要適宜対処できるようにしている。
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗面、浴室等に置いている洗剤等は、入居者の手の届かないところにおいて、危険防止に努めている。		個人差があり、必要か、いなか、利用者主体で検討し危険のないよう処置している。
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転落、転倒、行方不明の可能性は高く、事故防止の意識を養う学習は常に行っている。	○	オール電化、床暖房にはなっており、また、喫煙する入居者はいないが火災時の人命救助、初期消火、緊急時通報方法の防災訓練、学習を行っている
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	心肺蘇生術の研修修了者を中心に伝達研修を実施している。		医療・家族・管理者への連絡連携。救急搬送時の手順等の勉強会を行った。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議等で災害対策を議題し、地域住民の人々の協力体制に付いて話し合っている。	○	町内会長の話では常に何をしたいのか、具体的な援助・支援方法を考えて欲しい。地域の人と話し合い協力を得るよう取計らいの役割は果たすとの事。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	運営推進委員会 利用者の入居状況を家族にお話している。自宅でも起き得るリスクに対しては理解してもらっている。		家族のリスクの理解、職員のリスク回避と管理責任との差異 抑圧感のない暮らしを今後も話し合ってまいります。
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 7項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	検温・血圧・便通等／毎日 測定しています。		体調の変化は記録する。異変に付いて往診、緊急時、医師への連絡帳を作り、個別に連携できる方法を探っています。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	おくすり帳 薬剤師 ケアマネ 看護師 介護師 等 服薬確認の援助 症状観察をおこなっております。		往診時、内服処方方をケアマネが薬局へ行き、薬剤指導を受けております。介護スタッフへ注意事項を説明しております。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材の仕入れは外注とし、高齢者用野菜中心のメニューを選択。散歩・お風呂時 下腹部マッサージ等 腸の蠕動運動を高める事もおこなっている。		便通表と性状を検討し、医師処方の下剤の服薬援助を行っております。
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア 清拭等の援助支援を個々に合わせ実施しております。		体調・精神状態等により時間方法を考えて、個別性を重視し行っております。
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全面介助者には水分補給表を活用し、一日の水分摂取量を明確にしております。		飲水(茶)を勧めており、高齢者は保水力が少ない状態である事の理解してもらう学習会を行っています。水分の重要性を常に話しております。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	訪問者には手洗い・マスクの着用を推奨しております。		入所者に感染症はありません。フタッフ・入居者には手洗いを中心とした、予防策を行っております。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、食材を届けてもらっております。		毎食前 調理し食べてもらっております。食材を残さない管理をしております。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターに季節の花を植えております。		毎朝、水やりを行い、挨拶等の近所との交流を行っております。
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真・花・を置き、照明の配慮を行っております。		季節折々、生け花・イベント飾りで生活にメリハリをつけております。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室におられる時間を重視しております(声掛け・見守りで)。		リビングで過ごし話好きな利用者、居室に過ごす事を好む利用者、個性性を重視した対応をしております。
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	配慮しております。		個々差異はありますが、個人に合わせた馴染みの物を持ってきてもらっております。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気により換気、空調等に努めております。		働いているスタッフに合わせる温度調整ではなく、入所者目線の室温調節を行っております。イオン清浄器の導入。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日常生活動作機能にあった居室の選定。		ベッドの選定 高さ・位置等を配慮 ベッド周囲の家具の配置に安全の確保 筋肉増強 動線 安全 等を考慮しております。
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自立の高い利用者には2階の居室を トイレを明確に(便所)明記しております。		声掛け・誘導・介助・視線(プライバシー)・距離感等を意識し、介護に当たっております。
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	隣接に当施設の託老所を建築中		隣接建設中の施設が利用可能となります。今後の課題と考えております。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 2項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム介の羽

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

## 評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	2 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	3 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	8 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>		
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>		
－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (3)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	7 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	2 項目/3項目



総合評価	
I 理念に基づく運営 ( <input checked="" type="checkbox"/> 4項目/5項目)について	連合会長様民生委員、市の職員及び入居者ご家族よりご意見を頂き、より一層安心して安全な介護がさせていただけるよう努める。
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 2項目/2項目)について	新たな関係作りと培ってきた関係の継続。
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( <input checked="" type="checkbox"/> 4項目/4項目)について	その人らしい暮らしの支援に向け、3ヶ月に1度のサービス計画の見直しに加えて、毎月の社内カンファレンスにおいても日々の変化について担当者と見直しを行う。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 6項目/7項目)について	担当者会議でとりあげられた課題について個別の支援を行う。
V サービスの成果に関する項目について	サービスについても可能な限り自己の残存能力をいかしながら、自立に向けた生活をしていただき、残された命を輝いていただくことを目標に、バリデイション・ダイバージョナルセラピー法も職員の中で共通の介護法として定着してきつつあり、ホーム全体が穏やかな雰囲気にも包まれている。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日: 22年 5月 1日

前回評価年月日: 21年12月8日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間(○年○月～○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期評価実施時期
評価項目番号	優先順位	内容				
2	6	理念御共有	常時	毎朝唱和する	50%	1年後
5	7	隣接地に高専賃を建設中のため、地域との支えあいには積極的に参加している。	常時	朝夕の挨拶、総会、夏祭り、草引き、溝掃除など	100%	1年後
6	8	ハード的に難しいところがある。	常時	出来る限り、地域の行事には参加している。	90%	1年後
14	4	ご入居者様へのお便りの発行	毎月	毎月発行する。	100%	1年後
19	5	新人教育・介護者としての心得を学ぶ。	常時	認知紹介後外部研修への参加  当施設の理念と認知症介護	90%	1年後
20	3	同業者との小規模交流会参加	1年間	医療関係交流会、日本ロングライフの研修会、協議会、総会参加	100%	1年後
53	8	身だしなみ	常時	モーニングケア一時に洗面のみでなくおしゃれにも配慮する。	70%	1年後
69	1	災害対策	常時	オール電化で火災の危険性は少ないものの、防災訓練は実施する、ご近所を交えて夜間の訓練を実施する。	80%	1年後
71	2	防災対策	常時	ご近所の方に「運営推進会議」にて、ご入居者の状況を把握していただく(ADL部屋割りなど)	100%	1年後